

平成25年度夏の認知症セミナー実施要綱

- 1 目的 京都府では、高齢者の方が安心して住み慣れた地域で暮らしていただけるよう、医療・介護・福祉の各分野が連携し包括的に支援していく取組を進めている。
京都府丹後保健所では、関係職種の対応力の向上と連携強化をめざして、毎年夏の認知症セミナーを開催しているが、本年度は、医療機関、家族それぞれの立場から認知症の方への医療同意の課題や正しい知識と対応のポイントを学び、地域全体の認知症への対応力向上（住み慣れた地域で、お互いを理解し、ともに支え合う地域づくり）を目的に開催する。
- 2 日時 平成25年8月10日（土） 13:30～16:30（受付13:00～）
- 3 会場 知遊館（京都府与謝郡与謝野町字岩滝2271番地）
- 4 内容
(1) 映画上映 『そうかもしれない』
「認知症の妻とそれに向き合う夫」の夫婦愛を描いた映画。
(2) 座談会 「認知症とともに歩むために」
認知症の基礎知識、認知症が進んできて医療を受けるときのポイントや、その前に準備しておくべきことをそれぞれの立場からお話いただきます。

講 師 認知症の人と家族の会 京都府支部代表 荒牧敦子氏
京丹後市立弥栄病院 内科医長 堀口正樹医師
京都府立医科大学精神機能病態学講師 成本迅医師
- 5 対象 一般府民（定員300名 申込不要 ただし先着順）
- 6 参加費 無 料
- 7 主催 ○京都府丹後保健所
○JST/RISTEX「コミュニティで創る新しい高齢社会のデザイン」研究開発領域
「認知症高齢者の医療選択をサポートするシステムの開発」プロジェクト
- 8 共催 宮津市 京丹後市 伊根町 与謝野町
- 9 後援 一般社団法人与謝医師会 北丹医師会
京都地域包括ケア推進機構 京都府立医科大学附属北部医療センター
京都府看護協会北丹地区
京都府訪問看護ステーション協議会Aブロック北丹支部
丹後地域リハビリテーション支援センター
一般社団法人京都府老人福祉施設協議会
一般社団法人京都社会福祉士会北部支部
京都府介護支援専門員会丹後ブロック
京丹後市福祉サービス事業所連絡会 与謝野町福祉事業所連絡会
- 10 問い合わせ 京都府丹後保健所（企画調整室 医療・高齢担当 0772-62-0361）

京都府丹後保健所
夏の認知症セミナー

J-DECS  Health care decision-making support for people with dementia in Japan

JST/RISTEX
「コミュニティで創る新しい高齢社会のデザイン」研究開発領域
「認知症高齢者の医療選択をサポートするシステムの開発」プロジェクト共催企画



人生で、めぐりあったたったひとりの伴侶。かげかえのない妻、あるいは夫。あなたは、夫より妻より、先に逝きたい、と考えるでしょうか。それとも、1分でも後に逝きたいと考えるでしょうか。 ”認知症の妻と向き合う夫“の夫婦愛を描いた映画です

そうかもしれない

どんなご縁で、
あなたに、
こんなことを...

©2005 Funakoshi 製作委員会

雪村いづみ / 河藤快 / 下條アトム / 夏木陽介 / 烏丸せつこ / 桂春園治

入場無料



8月10日(土) 知遊館 午後1時30分～午後4時30分
(開場:午後1時)(与謝野町字岩滝)
京都府与謝野郡与謝野町字岩滝2271番地

定員:300名(申込不要ですが先着順です。直接会場へお越しください。)

1. 映画上映「そうかもしれない」 2. 座談会「認知症とともに歩むために」

講師 荒巻 敦子 氏(認知症の人と家族の会 京都府支部代表) 堀口 正樹 氏(京丹後市立弥栄病院 内科医長)
成本 迅 氏(京都府立医科大学精神機能病態学講師 医師)

問合せ:京都府丹後保健所 (企画調整室 医療・高齢担当TEL:0772-62-0361)

主催:京都府丹後保健所 JST/RISTEX「コミュニティで創る新しい高齢社会のデザイン」研究開発領域「認知症高齢者の医療選択をサポートするシステムの開発」プロジェクト
共催:宮津市 京丹後市 伊根町 与謝野町
後援:一般社団法人与謝医師会 北丹医師会 京都地域包括ケア推進機構 京都府立医科大学附属北部医療センター 京都府看護協会北丹地区 京都府訪問看護ステーション協議会
Aブロック北丹支部 丹後地域リハビリテーション支援センター 一般社団法人京都府老人福祉施設協議会 一般社団法人京都社会福祉士会北部支部 京都府介護支援専門員会丹後ブロック 京丹後市福祉サービス事業所連絡会 与謝野町福祉事業所連絡会(順不同)

ゆっくりとこわれていく妻、と、ただ静かに見守る夫
実話に基づく夫婦愛と感動の私小説、堂々の映画化

モウがも しれない

穏やかな晩年を共に仲良くゆっくりと過ごしていくはず
だった夫婦。ある日突然、妻に認知症の兆候が現れた。
めぐり逢い、伴侶と決め、ふたりだけの言葉をもつま
になつたはずの妻が、少しずつだがゆっくりと確実にこ
われていく。夫はそれを受け入れながらも、ただ見守る
事しかできない。そして夫も病に倒れる。夫婦はついに
決意を固め、特別養護老人ホームと病院に入り別々の暮
らしを始めるが、やがてその日が
やってくる…。

読売文学賞、芸術選奨文
部大臣賞を受賞してい
る詩人・小説家の耕
治人の著作「天井から
振る哀しい音」「どん
なご縁で」「そうかもし
れない」。〈命終三部作〉
と呼ばれるこの作品を、



10年越しの企画としてあたため
てきた保坂延彦監督が、脚本
を執筆し、映画化した。

主演に、老いとこわれゆく妻
という難役に果敢に挑戦した
ポップスの歌姫、雪村いづみ、
そして、映画初主演となる上

方落語会の重鎮、桂春團治。共

演に、阿藤快、下條アトム、夏木

陽介、鳥丸せつこ。いずれ劣らぬ演技派

俳優陣が、淡々とした日常を描きながら、重厚にひ
ろがるドラマのテーマと心にしみわたる感動を支え
ている。

寡作の文筆家・高山治（桂春團治）と、その妻ヨ
シ子（雪村いづみ）。質素だが、草花を愛で、風の匂
いで季節を数える平穩な暮らし。

その日は、突然、訪れた。趣味の絵を描く時も、思
うように手が動かず、絵の具の入った小皿をぶちま
けてしまうヨシ子。「私、どうしたのかしら。もう体
が動かなくなってしまうのかしら。」そして、ゆっく
りだが、病は確実に進行していき、自宅介護の限界は、
もう、すぐそこまで近づいてきていた。

そんな時、夫を激痛が襲う。ガンの発症だった。と
うとう夫は決断する。妻は特養ホームに夫は病院へ、
夫婦別々の生活が始まった。

久しぶりに、ヨシ子が高山を病院にたずねる日がやっ
てきた。おしゃれをして病室にやってきたヨシ子。
ばんやりとする記憶をたぐるように、妻が口にした
言葉は…。

高山ヨシ子
雪村いづみ

森田武
阿藤快

時間定夫
下條アトム

水野医師
夏木陽介

志田文枝
鳥丸せつこ

高山治
桂春團治

製作総指揮 / 大平義之
製作 / 新田博邦
脚本・監督 / 保坂延彦
原作 / 耕 治人
エンディング・テーマ / 「架け橋」 Jacky Woo (muse records)
製作 / 「そうかもしれない」製作委員会
配給 / シナジー
提供 / フォワード・グループ

第18回東京国際映画祭・第24回イラン国際映画祭正式出品作品
社全国老人福祉施設協議会推選 / 社認知症の人と家族の会推選